

“ふじのくに”^{しみん}士民協働 施策レビュー結果

1 基本情報

政策	政策4 誰もが活躍できる社会の実現		
政策の柱	4-1 活躍しやすい環境の整備と働き方改革		
議論した施策	(1) 産業人材の確保・育成		
実施日/班名	9月8日(土) 第3班	担当部局名	経済産業部 労働政策課 雇用推進課 職業能力開発課 農業ビジネス課

2 施策改善提案

仕事の選択は、個人の価値判断であるからこそ、静岡県に戻り働きたいという選択肢を用意することが重要である。

静岡県は、「住みやすい」「豊かな自然環境」といった魅力があるが、その魅力と仕事・雇用が結びついていない。「静岡県の魅力」を伝えることで「静岡県で働く」ことを選択してもらえる取組が必要である。

- 情報を発信する際には、「ターゲット」を明確にし、ターゲットのニーズ調査を行ったうえで SNS や web を活用した情報発信を行う必要がある。就職希望者が、必要な時に必要な情報にアクセスできる体制づくりが重要。
- また、首都圏等で、静岡県で暮らすことの魅力と県内優良企業の情報をセットで提供するとともに、SNS 等により情報の受け手である学生等が自ら情報発信・拡散させる仕組みが必要。
- 県・市町・大学・企業が連携し、例えば、大学に県と企業が訪問して行うスカウト型の就活イベントなど、もう一步踏み込んだ、集中的・効率的な人材確保の取組を検討・実施していくことが重要。
- 中・高校生の段階から「静岡の仕事」についてイメージを持ってもらうことが重要であるため、教育現場と連携し企業見学や「静岡の仕事」をテーマにした授業を実施する。
- さらに、今年度実施予定の「ふじのくにパスポート」制度を活用することで、県から離れたとしても戻ることのできる「きっかけ」を作っておくべきである。
- 一般的に「ものづくり」は、決してイメージが良いわけではない。徳川家康の居城であった駿府城や、徳川家光による浅間神社造営のため、各地から優秀な宮大工が集まったことがものづくり県のルーツにあるなどの面白いストーリーや、女性にも働きやすい職場であるといった情報発信をすることでイメージアップを図る必要がある。
- 今後設置される職業能力短期大学の教育カリキュラムを充実させることにより、静岡の特徴を活かす人材育成に取り組む必要がある。